京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵税一ケ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久紳一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

雜報

漁民衛生狀態（一）

韓國漁業者の病氣月をは異にするに隨て異同がある尤も盛漁期に於て多數漁夫の渡韓すれば隨つて患者數に増減を來す理なるが特に脚氣病の多き土地は鎮海灣及び巨濟島沿岸の鰮業場なり其他の漁場には存在するも比較的小なく鰮漁場の一處に於ては十八又は十數人枕を並べて病床に呻吟する有樣なり其が爲め雇主は事業を充分發展する能はず一朝死亡者の續出する場合の如き損害も又尠からず而して脚氣病なるものは其經過長く容易に治癒せざるを以て患者當人の不幸のみならず雇主の損害甚しく其の家屋の構造は纔かに風雨を凌ぐに止まり床もなく土砂の上に直ぐ薄團を敷き起臥するものなれば濕氣は常に身体を襲ひ日常の飲食は米を常食とし副食として漁獲したる鰮其他の雜魚を生食し新鮮なる野菜等を食することは甚だ稀少なり而して脚氣病は野屋に生活するものと舟中に生活するものとを相比すれば舟中にあるもの遙かに多し即ち舟中生活は蛋白質脂肪質の多き魚食にて加里鹽類の多き植物を取らざる爲め胃の消化に不權衡を來し又は新陳代謝上に不平均を來す結果なり併しながら脚氣病原因に就てはまた一の定論なきも彼等漁夫の内地にありて正規の生活をなしつゝあるものが俄かに海上生活を營むに當つて身体衛生に必要は食物の不平均なる爲め新代謝に變動を起せる事は爭ふ可らざる事實上して脚氣中多くは濕性にて常に下脚は浮腫して指壓を加ふれば除凹たる痕跡を存す是れ勞働者の常として心臟に疲勞を來し易きが爲めにして脚氣病は深く考究する點あると共に亦衛生生活語を換へて云へば食物飲料水の改善を要することゝ思ふ漁夫たるものは一定規則の下に服從し所謂軍隊的生活を取り暴飲暴食を禁じ米麥の混食新鮮なる野菜の供給をなし常に腸胃を傷害せしめざるやう豫め事業主は漁夫雇入の際に相當の規約を設けて勵行せば患者の減少疑ひなかる可し

（二）消化器病　消化器病中には腸加答兒あり胃擴張症もある消化不良症もあり時には神經性胃病もある胃は一般に擴張的のもので彼等職業として正規に食物を喫することは少く一朝魚族の群集するや己の空腹を忘れて直ちに其作業に從事する其勇氣や賦に愛すべきも作業終れば直ちに空腹饑餓を感じ蒼皇數椀を傾けるから此に於て生理睡眠を催して疲勞を感ずるなり特に夕食夜間に於ては雇主より受けたる酒を飲み直ちに就寢するを以て此際胃は消化する力減少し殘物は腐敗異樣の生理作用を起す彼等にとりては一種の職業病とも云ふべきか是れ何れの月に於ても消化器病の多き所以にして尤も食物の關係は亦脚氣病の多き所以なり亦反對の現象として充分食物を喫して一定の安靜を取らず直ちに其勞働に從事することあれば胃の消化に必要なる胃液分泌及び消化運動にて減殺せらるゝ爲めに終に消化不良症に陷る者多かるべし

（三）呼吸器病　呼吸器病の中最も多きは氣管枝炎にして次は喉頭炎咽頭炎なり肋膜炎及び肺結核症等は稀に見る症狀にて甚少也八九兩月に渉つて呼吸器病の多き時候は夏より秋に至り氣壓の變動甚しく晝夜の温度著しく激變する爲め屢々感冒に罹り呼吸器粘膜を侵害するなり尙ほ韓國は一般に雨少なく空氣乾燥する結果ならん（つゞく）

螢は何故光る（上）

無熱無煙の理想的光輝を放つ螢の研究

本年も螢の時期が來たが螢狩は至極面白い夏の夜の慰みとして、螢狩は至極愉快なものであるが、之を單に遊戲として慰樂としてのみ看過して了ふ事は遺憾である、猶且り之を機會として一般の人々に學術的の研究をさせる樣にして、動物學其他に就き多少の智識を與へる樣にしたら興味も一層であるし遊びの間に智識を益す譯だから其邊も注意したら善からうと思ふ

▲螢は何故光るかと云ふ事を御話しやうか、先づ其前に螢は如何にして出來る？即ち螢が此地上に生れ出づる順序其他差當り思ひ浮べたことを話しやう昔時の人は枯草が螢になると思つて居た禮記に『季夏六月……腐草爲螢』と書いてあるが、東洋人は其後此説が果して異なるや否やの研究を爲さず、二千五百年の久しき其の通り信じて居た者が多い、東洋の博物書として重きを置かれた本草綱目にも螢が暗を照らすといふ特質から見て螢の腐干は目藥になるなどゝ教へて居る人智開發の歴史として見れば頗る面白いが、理學思想の幼稚なのに驚くの外はない

之に反して西洋では大分研究が進んで居る、螢の光りに就てはアリストートル以來多くの學者が研究して、種々の記錄を遺して居る併し近年まで完全なる解釋を與へたものは無かつた

螢の光りには熱の添はぬ事、煙りの出ぬ事、此二點は學者の逸早く注意した處である、同時に之が詩人の筆に上つてシエキスピア時代の詩人ブレッチャーは彼の柔順なる宮人が、徒らに身の飾のみを華美にして丈夫の氣象に乏しきを螢に比して諷つて

光彩目を奪ふ螢も汝は外に火を裝へども心中絶て熱氣なきにあらずや

と詠つた、支那の詩人にも此特性を歌ふ者が少くない、梁の文帝が螢を詠つる詩に『人に著て熱あらず』と疑はれ草に集つて煙なきかと訝かる、の句がある、宋の程大昌は

有火之用無火之熱

と云つた、我國でも彼の堀川百首に載せてある藤原基俊の歌に

行く螢夏の夜すがらいかにして
煙りもたゝずもゑわたるらん

と云ふのがある、何れも同じ意味を歌つたものである

偖之から本題に入る

賊巨魁等の近狀

（京城憲兵分隊管内）

一時各地を横行し良民を苦しめたる賊徒は日に月に檢擧され今や漸やく其の跡を絶つの形狀を呈せり今賊魁姜基東及李鎭龍延起羽等の消息聞知するに姜基東は各地に數十名の部下を有し京畿道陽州及咸興の地を主として横行し居るものゝ如し李鎭龍は黄海道平山の附近にて行動し延起羽は江原道鐵原の地方を行動し何れも數十名の部下を有し延起羽の如きは一晝夜に二十五里も先きに身を脱する事とて官憲も右三名の中にも延起羽の居所發見には非常の苦心し居るものゝ如し而して以上の賊魁等も昨今鎭定の傾向を呈せるを以て近く京城分隊管内は賊徒其の跡を絶つに至るべしと某氏は語れり

日本銘刀傳

第百卅三席　津田近江之守（卅八）　邑井一貞講演

武林唯七は和久半太夫と戰つて居たがなか〳〵武林一人で和久を討取ることが出來ない、所が岡島彌惣右衞門は例の津田近江守直助の一刀を右の手に握つて『好き敵はないか、助直の名刀も昔て盜賊を斬つて充分に試したけれどもまだ眞の武士を斬つたことはない、何うか一つ誠の武士を斬つて見たいものだ、刀の手前に對しても誠に恥かしい、好き敵はないか』とやつて來ると今廊下で武林と和久とが互に殺氣を奮つて戰つて居る、岡島は是は幸ひと思つたから刀を揮つて直ぐに和久半太夫に斬つてかゝる　岡『林武殿、此敵拙者に讓りを願ひたい、最早明方近くなりたれば御貴殿は早く奥座敷へ行つて上野介の頭を揚げられるやう願ひたいものでござる　武『是は岡島殿、れ助太刀は恐入る、拙者は御意見の通り早く奥殿目懸けて參らうと存ずるが、此敵を打捨て行くのも殘念でござる』と言ふ途端、ヒヨイと闕へ躓づくと、和久は一聲叫んで斬下さんとする處を、岡島彌惣右衞門は早くも飛込んで和久を肩先より斬下げた、和久半太夫も豪傑でありますが先刻よりの戰で勞れて居る、少しは隙があつたものと見ゑて忽ち岡島のために切下げられて、殘念と云つて倒れた、何んしろ刀は有名な助直の鍛ね上げた者、見事に肩先より乳の邊まで斬下げた、アッと言つて倒れる所を離なく止めを指した、是れ全く助直の刀が能く斬れたからであります、流石の豪傑も此處で落命を致しました、是は誠に助直の名譽であります齒こぼれ一つもしない、後に泉岳寺に引上げてから此刀は寶物として泉岳寺へ納められましてございます、岡島のれ話しは是にて止めまして又再び津田越前守助直の傳記に這入つて伺ひます

助直は赤穂を出立致して後大阪へ歸り再び師匠の家に參りまして、昔ではありますがなか〳〵大阪と云ふ處は繁昌をして美人も多い、此助直の養父助廣と云ふ者が、不圖したことから女狂ひを始めて尤も今では家をば養子の助直に讓りまして、自分は諸國を遊歷して遊び暮して居る、所が大阪の道修町に評判の美人達が集つて居る料理屋がある、其家の娘でちよつとした女がある助廣が兼てより此女に熱心であつた、所が此女には夫がある、此女は名れ陽と云ふ其の姉のれさうと云ふのは、兼て助廣の家に奉公をしたことがあるので助廣とは懇意の中だ、れさうは今獨身で天滿橋の傍に三味線の師匠をして居る、或る日助廣がブラリとれさうの家へ遊びに來ますと　さ『オヤ是は親方さんさア此方へれ上んなさいまし　助『御免よ、今日は好い天氣だね、もう私も隱居して他に用はないからブラ〳〵と遊びに來た、少しれ邪魔をしませう　さ『能く入らして下さいました、丁度今稽古も濟みました處で、一人でございますからゆつくり召上つて下さいまし　是かられさうは酒肴の用意を致す、酒が始つて段々醉が廻ると助廣がれさうに向つて　助『時にれさうさんれ前の妹のれ陽は大層美人だね、彼は亭主があるのかい　さ『亭主も何もありはしません』此時にれさうか亭主があると言つてしまへば何んでもなかつたのだがないと言つたもんでありますから　助『さうかい夫れでは私が二十兩の金を出すが何うか私の妾に世話をして貰ひたい、猶は金のことは幾らでも入用ならば出しますから』二十兩の金に目の暗んだれさう、止せば宜いのに直ぐに承知して妹のれ陽を取持つと云ふことになりました、是れが大間違を超す因になりまして一大騷動を惹起しまする因になります

東京電報

▲皇太子御還啓　相州小田原山縣公別邸に行啓中なりし皇太子殿下には御歸京相成りたり（七日）

▲井上侯爵の西下　井上侯は本日名古屋に向け西下す（同上）

▲平田内相の歸着　關西北陸地方旅行中なりし平田内相は本日名古屋より歸京せり（同上）

▲生産調査會開會　生産調査會は六月二十日より二十五日まで農商務省に於て開會する事に決定したり

▲大邱觀光團光榮　慶尙北道觀察使主催の觀光團三十名は七日芝濱離宮の拜觀を差許され茶菓を賜はる

▲實業團の漢江着　渡清實業團一行は六日漢口に着したる旨通報あり（同上）

▲各參謀長謁見　目下參謀長會議の爲め上京中なる各鎭守府要港部附參謀長等二十八名は本日伊集院軍令部長同伴參内御座所に於て天皇陛下に拜謁終つて別殿に於て茶菓を賜はりたり（八日）

▲個人救濟決定　日露戰役個人救濟に關しては主査會にて略調査を了し目下委員會を開き着々決定しつゝあるが餘程進捗したるを以て來月上旬中には總會を開き決定し來る七月全部の決定を了し同時に大藏省に廻附するに至るべし（同上）

▲議會開期變更　帝國議會の召集を十一月に繰上ぐべしとの議專ら各政黨有力者間に行はる其の理由は第一議會以來常に十一月に召集せられたるを以て各政黨も十一月に大會を開き對議會方針を決定し豫算を議了し翌年一月に入りて遲くも八九日早くも四五日に開會して重要議案を附議したる後なれば議會は悠々愼重審議の實を擧ぐるを得べし然るに二十七年戰役ありて豫算の尨大を來し政務複雜を來したる爲め豫算編成捗らず其の結果二十八年に於て前例を破り十二月に召集の新例を開き爾來之れを繼承し來りしが今や三十八年戰役以來既に數年戰後經營の時代を去りて或る意味に於ては戰前の準備を要する時代となりし故に十一月召集せざるべからずと云ふにあり

▲掃蕩功勞者合祀　臺灣領有以來掃蕩に從事せし殉勇にして特に功勞あるものに對しては臺灣神社に合祀し他の巡査は靖國神社に合祀する議纏まり近々奏請の運びに至るべし

大連電報

▲都督府釀造場　都督府中央試驗場に於て高梁酒の改良上熱心に研究中なりしが今度愈々奉天に一大釀造場を建設し本年夏季より釀造に着手し一箇年三千石を釀造する豫定なり（八日）

浦潮特電

▲滑稽戰鬪準備　日韓合併は愈々今週中に決行すべく露國も既に同意せしと喧傳せられ之を聽ける露領沿海州の排日韓人等は大に覺悟する處あり發表と同時に首魁等は豫定の根據地に向ひて出發し部下を率ゐて北間島より北韓方面を衝き一派は支那領を經て中央に進擊せんとの計畫を立て既に浦潮附近には與黨一千餘名集合したり彼等は孰れも露國式の銃を有し首魁は李範允洪範圖ゲンジンセウにして各三百餘の部下を隨へ間諜二三名宛を間島及北間島へ徘徊せしむ（八日）

雜報

曾禰子爵の献品

曾禰前統監には最初歸任の節左記の品々を夫れ〳〵贈呈せらるべき筈の處今般辭任につき右贈呈方を統監府へ依賴し來り八日獻上方取計ひたりと

●皇帝●　金通織物、白織物薔薇、黄色小紋、古水色鎧織、草色堅鎧織

●皇后●　銀通織物、時色ブリクアント縮緬、花色紋ブリクアンド縮緬、時色朱子縮緬、水色朱子縮緬

●太皇帝●　白織物レースに西洋花模樣、鼠小紋壁織模樣藤、鳩羽堅鎧織、水色朱子縮緬、クリーム朱子縮緬

●嚴妃●　白色レース金縷織物、水色小紋壁織模樣薔薇、赤朱子縮緬、花色朱子縮緬、シヤンパン色シフホンクロース

●趙南升事件の進捗

太皇帝の賜なる趙南升が玉璽を僞造したる大罪を犯したりとの被告事件は目下警視廳の手に於て調査の歩を進めつゝあり秘密箱の如きも其の副産物として同人の口より表はれたることは既報の如くなるが本件の調査は既に其の大部分を了し趙南升の外三人の被告人も目下警視廳に拘禁され在りて近日檢事局に廻付さるべきまでに運び居れるや元來該事件の本源は專ら太皇帝に關係せると一方には裁判の管轄權無き米人コールブラン氏なれば其筋にては之れが調査に至大の困難を感じつゝあり而して本件の最も研究を要すべき點は太皇帝とコ氏との間に於て株券全額の協定は如何なる方法を以て定めしか太皇帝か趙南升に對する委任は如何なるものなるか即ち委任の範圍は如何等にて今後事件の進捗するに隨ひ秘密箱は又々何れの邊より表はるゝやも知れず調査の方法等は普通證人と異なること故成る形式を要することとなるも今は之れを語るの自由を有せず暫く記して後報を待つ

●朴内相と平南人士

朴内相が平壤水道開通式參列の爲め出張せるに就き同地人民等は種々の噂を爲し耶蘇敎徒又は裁判所所屬の官吏等は彼は日韓協約に調印し韓國を賣れる五賊大臣の一人なりとて口を極めて痛罵せるが一般人民は之に反し殊に頑迷固陋の部類に屬する古老兩班儒生財産家の多くは孰れも朴内相の人格を推重し若し甲午前なれば領議政代理吏曹判

經濟小言

▲韓銀の中央銀行態度決定は本來中央銀行として建てられたる同行の本分を發揮せんとする迄にして余輩より見れば極めて平凡の事なり、されど韓半島は別天地なり、役所、會社將た銀行等何れも其本分を發揮せざらんことに勉むるの地なり、斯る別天地に在りては當然にして而かも平凡なる市原總裁の言明だに有數と見ざるを得ず。

▲韓銀の態否な韓銀重役の患は毎期配當に政府補給金を受くるにあり、若し政府補給金を受けざらんとするか勢ひ普通銀行業に力を入れ營利を講ぜざるべからず、韓銀重役たる者の苦心實に茲に存す。

▲韓銀重役の苦心や大に諒とすべし、而かも諸氏の苦心や韓銀の範圍に囚はるゝより生ず、一度眼界を廣くし半島開發の任務に就いて考へなば如何、政府の補給金や素是半島開發費の一部、韓銀重役が之を受くるを潔しとせざるは抑道理なきことなり

▲韓海捕鯨業を獨營する東洋捕鯨會社は法定積立金別途積立金を爲したる外年一割五分の配當を爲せり、由來沿海捕鯨業は八分の收利を以て上々とす、東洋捕鯨の暴利之を解剖せば不正の間に存せん。

▲日韓瓦斯電氣の馬山事業擴張は愚なり、過日も言へる如く同社本來の目的たる京城の營業さへ未だ緒に就かざるの今日に於て何の餘裕ありて遠き馬山に手を延ばさんとするか、重役や株主や再思三考を要す。

書として威風地を拂ひ之を迎ふる人民は多額の接待費を要するのみならず多數の隨行者に對し贈賄を爲し歡心を求めざるべからず而して從來の經驗よりも之を强制せられて苦痛言ふべからざるなり然るに新政の恩澤によりて此災厄を免れ特に日本人官吏任用の爲め更に全く積弊の一掃されたるは實に喜ぶべしとて寧ろ彼是反對の現象を呈せりと云ふ

●官吏任命中止限界

寺内新統監は統監府に打電し此の際必要已むを得ざるもの丶外官吏の任命は當分中止すべしとの命令を發したるに付き統監府よりは夫々各部へ通牒を發して此趣旨を傳達したるが其限界の事例は學校生徒の募集濟にて敎育に補欠ある場合又は土地調査局にて土地の調査に出張すべき吏員か其班中に技手を欠き爲めに全部の休業を爲すの止むを得ざる場合等には任命し得べきも内部に於ては郡主事百名の採用を目下七十名丈採用しある故殘りの三十名だけを見合はすものなりと

●順川暴民二審判決

順川暴民二十六名は第一審判決に服せず控訴中の處六日午前十一時より第二審判決は平壤控訴院に於て言渡あり其結果懲役十五年四一名十年に輕減されたる外何れも第一審通りなるが尙方煥外一名の巨魁は罪の遁る可らざるを知り自暴の餘り法廷に於て狂亂を演出し頭を柱に打附け或は頭突をなし不自由なる身体にて能う限りの亂暴をなし數ケ所の負傷し尙は暴狀を極めんとするより巡査は廷丁等と力を協せて兩人を縛して之を制止せり

●積極計畫一切中止

官吏新任の中止電命は其意味を推擬すれば積極的計畫一切中止の反影にして各行政機關は之が爲めに一大頓挫を釀したる事廳次所報の如し隨つて各部の近狀は轉宅前の家中を見るが如く毫も積極的政務を進行する能はず則ち徒らに過去の事務處理にのみ忙殺され忙はしきは下僚の邊にして課長以上に位するものは空しく手を拱ねて低氣壓の觀測に是れ懊惱するのみなりと

●警察方面會議日程

既報第一第三方面聯合會議日程は如左

八日　九時半開會午前局長訓示后狀況報告
九日　午前狀況報告后諮問事項（此夕局長招宴）
十日　前諸問事項后部長提出事項
十一日　午前部長提出事項及局長批評訓示午后警察協會發會式茶話會（未確定）
十二日　は日曜十三日出發歸任

●曾禰前統監へ贈品

統監府及各部の日本人官吏は今般辭職せられたる曾禰前統監に對して贈品を爲すことゝ決定したるが其の品は銀製茶器一切を美術品製作所に於て作らしむる筈なり

●財務監督局長會議

各財務監督局長會議は去る六日より度支部會議室に於て開會中なるが出席者は各財務監督局長（七人）を始め鈴木司税局長、藤川、菅田兩書記官及平野森山の兩事務官等なり

●載寧耶蘇學校近況

載寧耶蘇學校は去る三日卒業式を擧行せるが生徒百七十名父兄四百餘名參列し頗る盛大を極めたり而して卒業生は中學部男五名小學部男七名女六名なり

●清兵鴨綠江を遡る

清國兵三百餘名は去月末安東縣より來りて鴨綠江を遡り帽兒山に向ひたるが彼等は目下三々伍々に別れて各所に配列し鴨綠江の漂流材木を監視し居れり

●憲兵將校の交代　憲兵大尉日英資治氏は東京憲兵隊より京城憲兵隊に轉じ同憲兵隊大尉小師三郎氏其後を襲ふ

●平柳大尉の來任　第十三師團副官歩兵大尉平柳竹志氏は歩兵第二十九聯隊附を命ぜられ不日來任する筈なり

●藤縄少佐の來龍　騎兵第二聯隊長騎兵少佐藤縄三九郎氏は七日來龍す

●阿部事務官辭職　度支部事務官阿部秀太郎氏は今回辭職韓國銀行に入る

社告

病統監曾禰子爵逐に掛冠して寺内陸相之れに更り山縣前遞相は新に副統監に親任せられ永く沈睡せし統監政治は茲に面目を一新し世上の景氣は將に活氣を帶びんとす、されば本社は兩統監更迭を紀念する爲め左の通り一大紀念號を發刊せんとす

統監更迭紀念號

▲紀念號發行日　來る六月廿五日

▲記事の内容　韓半島に關する名士の談論其他政治、經濟、人情、風俗、美文、短篇等最も趣味と實益に富める記事を網羅す

▲頁數と發行部數　約數十頁となし發行部數も平素に數倍し廣く江湖に配附せんとす

右の次第なれば當日の廣告は普通廣告に比し數倍の價値あるを信ず

尤も廣告締切り期日は六月二十日を限りとす

六月　京城新報社

●釜山瓦斯の將來

内地財界の趨勢は企業熱の勃興となり近く釜山に一大瓦斯會社創立されんとし目下其計畫進行中の由なるが聞く處によれば該社は現在の電燈會社及び輕鐵を買收し之を包容して更に瓦斯事業及市内電鐵を經營するに在るが今其買收豫定價格なるものを見るに電燈は十万圓乃至二十萬圓を輕鐵は二萬五千圓乃至五万五千圓に買收する筈なりと而して是れ既に不廉の評價にして權利價格も茲に到れば絶頂に達せるものと謂ふべし則ち倍價以上の買收に餘り其例を見ざる事なればなり然らば斯かる無鐵砲の計畫を遂行してまでも將來の見込ありや否やを考察するに瓦斯に於ては多少收益の見込あらんも電鐵に就ては其經營頗る至難なるが如し若し其人口京城の半數だにあらば兎に角現在の釜山は三萬餘に過ぎざるにあらずや人口の多寡に待つ最も多き交通事業は彼の裝飾的電燈瓦斯と同一に律し難き理由あり故に該社の前途に對し早くも悲觀の聲あるも宜なりと云ふ（電通）

●水道剩餘金の處分

今回通水を見たる平壤の水道工事は工費豫算百三十萬圓に計上されしが竣成せし結果十八萬圓の剩餘金を生じたるを以て平壤新聞社長古莊仁太郎氏は是を利用し市街の下水工事を完成せしめんと去る四日民長及民會議長に宛て其趣旨の建議書を提出したるにぞ民長及民會議長は目下建議案に基き協議中なり而して同地の下水工事は彼の日韓共同土木事業に於て多少の豫算計上しあり四ケ年繼續事業として本年より下水及道路工事に着手すべきも四ケ年間を通じて僅かに二十八万圓に過ぎず揚て本年の工事費七萬圓は多く韓人町側に施され日本人居留地目貫の場所は後廻しとなし而も全部竣成するも豫算少額の爲め完全なる工事は望むべからざる有樣なれば此の剩餘金十八萬圓を繰込ば完全なる下水道の竣成を期し得べく同地の下水道路の不始末なるは過日山根囑託出張の砌り氏は大に之れが完成の急務を叫ばれたる程なりと云ふ

●仁川居留民會摸樣

仁川居留民會を一昨七日午後八時より開會したるが出席者は奥田議長を始め藤田、市川、竹田津、稻田、八田、伊東、加藤、加來、青木、平山の十一議員にして先づ四十二年度會計檢査報告に次で四十三年度會計檢査委員の選擧を行ひたる結果青木、稻田、加藤の三氏再選し終つて谷田中將榊原少將より民團敎育費に金三千圓を同内國通運會社長吉村甚兵衛氏より小學校基本金として金百圓を寄附の件を承認し尙は四十三年度民團歲入出追加豫算の件を決議して協議事項に移りたるが其事件は小學校舍宅修繕に關する件及び花町極限間新道路開鑿に關する件並に仁川病院經營に關する件を審議結局同病院は個人經營に移し民團より年々幾干かの補助金を與へ其他相當の條件を附して其醫師を招聘する事に決したるが其折衝は一に民長に任する事に滿場一致して閉會せりと云ふ

●京城敎育會總集會

來る九日（金曜日）午後八時より壽町商業會議所樓上に於て京城敎育會總集會及第十五回敎育俱樂部開會する筈にて四十二年度會務及會計圖書館の件並に夏期講習會の件を報告し役員の選擧を行ひ終て山根正次氏の講演其他餘興有

●東西電鐵復線工事

日韓瓦斯電氣株式會社は既に南大門迄りの電鐵複線工事に着手せるが市民の希望により更に豫定計畫を變更して東大門より西大門に通する電鐵をも均しく複線とするに決したり而して其の費用は五萬圓を要するを以て彼の社債を追額して之を辨ずべしと云ふ

●京釜間線路に悪戯

一昨七日午前十時南大門發大邱行列車が金泉、秋風嶺間を進行中スパイキを建てありし爲め同所に停車して取調べたるも何の故障も無かりしより五分間にして發車せしが何者の惡戯にや不明

●外人の頭本氏歡迎

韓人基督敎靑年會長タアナー僧正主人となり來る十日鐘路靑年會館に頭本氏歡迎會を開き同時に日韓大官各國總領事及び民間の重なる人々を招待する由

●貯蓄銀行設立出願

和田常一氏等外數名は當地に貯蓄銀行を設立すべく理事廳へ出願し理事廳にても其必要を認め統監府へ進達したれば近く認可さるべしと云ふ

●佐竹秘書官の轉任

統監秘書官佐竹義準氏は統監の更迭と共に其職を辭することゝなれるが氏は土地調査局書記官に任命さるゝことに決定し近く發表さるべしと云ふ

●田中梅田の兩少佐

歩兵第廿九聯隊附少佐田中武雄は經理事務の打合せを兼ねて歩兵第六十五聯隊第二期檢閲見學の爲め七日來龍又臨時派遣隊附少佐梅田岩村氏も同じく來龍

●永見副頭取歡迎宴

韓人側各銀行會社聯合にて目下滯京中の十八銀行副頭取永見寛二氏を九日夜翔翠樓に招宴する由なり

●水野參事官來韓期

目下滿州視察中の内務省參事官水野錬太郎氏は七日奉天を發したるが來十八日入韓さるべく其筋に電報ありたりと

●水産組合の出張所

朝鮮海水産組合安興鎭出張所を廢止し於青島に同出張所を新設の旨同組合長より通知ありたり

●大邱協會と勤勉會

大邱協會慶州支部は所在民の惰情を戒め生業に勵精せしむる目的を以て勤勉會なるものを組織せりと云ふ

●元山海岸埋築決定

吉田秀治郎出願元山居留地海岸埋築の件六月六日付を以て許可せられたり

●南大門内通行開始

南大門開放は愈日韓兩官憲交渉を了りたれば十二日より通行せしむべしと

●榊原憲兵隊長歸着

地方巡視中なりし榊原憲兵隊長は八日午後七時南大門驛着歸任したりと

▲治外法權▼

我邦人中には主上及各皇族方の言行とし云へばやみくも誹謗を以て迎ふることを當然と心得、其極知らず知らず（實は知りつゝ）皇室に對し不敬の罪を犯しつゝある輩が幾らもある▲近着國民新聞に東宮專門家を驚かし給ふと云ふ標題で殿下西ケ原農事試驗場行啓の事が書いてある記事の内容を見ると殿下が日本の麥と外國の麥とを御判別なされたとか此邊は土質が惡いから作物には不適當だらうと仰せられたとか、製茶の輸出額千萬圓と聞召され、其れは米國へ行くのだらうと御承知遊ばされたとか、愚にも附かぬことを並べ立てて諛辭を呈して居る▲一体筆者は我殿下を何と心得て居るのか、暗愚勝顏ならば菽麥を辨せずと云ふ事もあらう、併し我殿下は嘗て學習院に螢雪の功を積まれ、今は軍職さへ帶ばせられ、已に三若宮の父とならせられて居られる方である、此れ方にして若し小學生徒が知り居る位の事を知ろし召さなかつたらソレコソ大變だ、こんな事を外國人杯が聞いたら我皇室を何と評するであらうか、夫れを仰々敷も東宮專門家を驚かし給ふなどと書きたつるは殿下を侮辱し奉るもので惡い了簡と云はねばならぬ▲過日は前田恭作の膽力に就いて書いたが今日は山縣五十雄に就て書こう、時は四十[illegible]頭、彼は外務大臣の夜會の歸[illegible]切橋の袂で、白刃を揮り翳し[illegible]れた、車夫は腰を拔した、併し彼は車上に在り人違ひならずやと物柔かに言つた、兇漢は彼の顔を見てアー失敬しましたと云つて去つた、女の樣な蒲柳の彼は斯く白刃の下に泰然であつた、之を以て見ると廿日鼠黨も中々馬鹿に出來ぬ

京城の裏面(二)

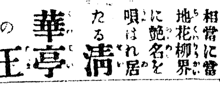
濡手で粟慾脱裏(二)

津城が川合に對し提出したる條件と云ふは廣梁灣鹽田工事の人夫供給請負者たる元志岐組支配人なりし森下へ自分を貴君の名義にて紹介せられたし支那語に堪能なる自分が同地に乘込みし以上は一部の賄を引受くるにしても千人二千人と云ふ多數なれば五千や一萬の金を儲け得んこと疑ひなきのみか實地に臨みなば他に爲す可き事業多かるべし飲食店の如きも其の一なり酌婦の輸入の如きも其の一なりされば貴君は京城に在りて自分の注文する物貨を取揃へ輸送せらるれば善し、而して總ての利益は資本主及紹介者たる貴君に於て適宜配當せらるれば夫れにて自分は滿足なりとの意味なり素より儲ける事の好きな川合は全然乘り氣になり直接森下に宛て津城大八が支那語に堪能なれば通譯若しくは事務員として雇使せられたしとの紹介狀を發したるに森下より折返し津城の性行を問合せ來れり川合は賣物に花を飾るの格にて良い事づくめの返書を送りしに間もなく雇入れ承知すと委細面談との書面を受取りたる川合は此れを津城に示せしに同人は川合に向ひ川合さんれ互にモウ大金持に成つたも同樣です兎に角私は一刻も早く先方に乘込み萬事を視察して其の模樣は電報又は書面にて報告しますから貴君は當地でイザと云つても間誤付かぬ程の準備をして置いて下さいとて出立せんとせし同人の服裝が餘りに見苦しとて川合は洋服、帽子、靴の出立迄貸し與へ廣梁灣へ向け出立せしめたるは三月初旬の事なりし津城は其の後續々電報書面等にて同地の盛況を列べ立てたる報告を寄せ越すにぞ川合は最早有頂天となり居たるに際し更に津城より人夫募集の爲め森下の部下原田某と同道して歸城すべければ萬事は面談すべし首尾上々吉とあるに川合は同人の歸京を待ち焦れし何日かの後九州旅館より電話にて「自分は廣梁灣より人夫募集の爲め津城を伴ふて入京したる原田と云ふもの當方より出向くべき筈なるが何分混雜居れば恐縮ながら御來車を乞ふ」と慇懃を極めたる口上ありしよ

福の神の御入來と川合は即日之れを同旅館に訪問したり原田と稱する人物は態度鷹揚なる好紳士にして自ら臺灣に於て警視たりしと稱せり津城は川合を同人に紹介するに某社々長と稱し京城に於て人夫募集を川合保證の下に引き受くる事に相談一決したり此の相談中も賭種の人物出入し原田は之等に對し百圓若しくは二百圓と手控へもなさず支出し居たりと然るに一兩日を經し原田は仁川に於て人夫間に悶着起りたりと號し津城を遺し置きて下仁したる儘遂に再び姿を顯はさずなりぬ——讀者は臺灣に於て警視たりしと稱する原田が靑書生川合を某社々長として扱ひたる眞相を看破せざる可からず(續)

玉助拍子の駈落

▽相手は理髮職人
▽釜山にて取押ゆ



去る頃中檢披露溫藝會に於て千代萩の政岡に扮し大喝采を博したる以來夫れ相當に當地花柳界に艶名を唄はれ居たる淸華亭の玉助事岸本よし(二三)は廣島市の出生にて四十一年春身付千圓の借金を負ふて面出したるものなるが別段此れと取り立てゝ云ふ程の藝もなければ然りとて滿更棄てられもせで先づは無難に今日を過し居る間永樂町二丁目の藤田理髮店の職人大住友太郎が剃刀使の意氣に優い所に打込み女の方よりヤイのヤイの極て嬉い交情になつたは善が何分相手は床屋の職人晴て逢ふことも稀なるをモドカシがり居たる由にて七日午前七時頃一寸其所迄用達しに行くと稱し出でたるまゝ午後に至るも立ち戻らざるにぞ同亭にては萬一足抜きしたのではないかと同人の部屋を檢ため見しに何日何處へ運びけん衣類等影も留めざるに扨こそと狼狽出し諸所聞き合せたる所大住の名を以て四十圓に入質し居ること迄判明したるより南部署に取押へ方願出しが即夜釜山驛にて兩人とも取押へたる旨電報あり元の籠巢へ逆戻り

新發明の自殺法

▽河豚の臟腑を食ふ

仁川新昌洞八統居住の金致朝妻林召史は一昨日故意に河豚の臟腑を喰ひて自殺を遂げたるが其原因は再昨日前記夫なる致朝の不在中近所の男數名遊びに來り其内の一人なる金元甫(二五)と云ふが煙草一本を置忘れたれば翌日致朝方に取りに行きたる處元來嫉妬心深き夫は自分の留守中我妻林召史と密通したるに相違なしと嚴しき折檻を爲したるにぞ妻の召史は女心の一筋に身の潔白を證せん爲め自殺を遂げたるものなりとは馬鹿〱しくもあれど亦哀れなる節あり

店員評判記(九)

平山牛乳販賣部員 友定榮吉君

榮吉君は山口縣玖珂郡秋中村の產で明治十三年の出生だ、國の中學校を卒業した後大阪に出て高等簿記學校に通ふ傍ら私立猶興醫院に通學すること三年であつた、渡韓したのは明治四十年で平山牧場に入つたのは四十二年九月だ相だ、堅固な基督敎信者で當地では旭町四丁目の日本基督敎會派に屬して居る、近來同志を糾合して向上會なるものを組織し在留青年の品性陶冶の一助となすべく努力し自ら會計係の任に膺つて居る牧場に在つては自ら時には配達もする配達の監督もする、此度平山牧場が發展して新築する事になつた時なぞ自分の事の樣に喜んで三ヶ月分の給金は入用んと申し出でた、併し許すべき筋でないから平山君承知は仕ないが甚く其の好意を喜んで居る、以て人と爲りを知るべきである。

面當の自殺未遂

▽無分別の行き止り

仁川山根町二丁目酒店相良初太郎方の井戸に今しもザンブとばかり飛び込みて自殺せんとする韓婦八あるを昨日午前二時頃折柄巡回中の警官に發見し後より抱き止め本署に同行し取調べを爲したるに同婦人は外洞居住の客主金聖舜と云へる者の妾なるが近頃亭主の寄り附かぬを無情に思ひ面當ての自殺を圖りたるものなりとは無分別な女かな

小式部に無理な注文

▽商業學士の色狂ひ

當地は旭町だか壽町だかに佗名を金綠眼鏡と云ふ商業學士殿あり生れ付いての利巧者にて商業學校を卒業する迄は品行も方正にて末頼母しき青年と見られ居たるに不圖した事より女と云ふ天魔に魅られ打つて變つた身の行ひに兩親が心配して泥混りの強意見も馬の耳に念佛火吹竹に說教同樣少しも改悛の狀なきのみか男が女を愛するのは自然の必要に應じたる迄なり左樣に八釜敷云へば僕ア朝鮮へ行きますと親の止めるも聞かず渡韓したる程なれば女道樂は渡韓當初の目的とて止める所か盛んに新町方面に發展し一時は淸月樓に通ひ居りしに此の頃は第一樓支店に河岸を換へ小式部の許に足繁く通ひ居るを風の便りに聞きたる古風な兩親は小式部を石井常右衛門を逆引ひた高尾同樣に思つたと見へ此の程小式部さん御親切があれば何うか悴に意見して下さいと申し越したるが其の手紙を見た小式部は無理だわねゑ馬鹿にしてらアとぞ吐したりとかアノコナ爵當り奴

臨時種痘日割り

京城民團に於ては九、十、十一日の三日間南山町三丁目本願寺別院に於て左の區域に從ひ臨時種痘を施行する由子を持つ親は遠からなぞ云はず出掛くべし

▲九日 御成町、吉野町、漢江通一、二、三、四、五、六、七丁目、青葉町、水道町一、二、三丁目、山下町一、二丁目、三坂通一、二、三、四、五、六丁目、小松通一、二、三、四、五丁目、柳町一、二、三四丁目、櫻町一、二、三丁目、古市町一、二丁目、蓬萊町一、二、三、四丁目、獨立門通一、二、三丁目、竹園町、和泉町西大門通一、二丁目、太平町一、二、三丁目、照義門通、新橋通、光化門通、幸町、茶屋町、羽衣町、米倉町、相生町南大門通一、二、三丁目、北米倉町、長谷川町一、二丁目、旭町一、二丁目、本町一丁目、本町一丁目裏通

▲十日 旭町三、四丁目、南山町一、二三、四丁目、壽町一、二丁目、明治町一二、三丁目、倭城臺、本町二、三、四丁目、曙町、永樂町一丁目、黃金町、水標橋通一、二丁目、長橋通、鍾路通、東雲町、廣川町、三角町、玉川町

▲十一日 大和町一、二、三丁目、壽町三丁目、日の出町、新町、本町五、六、七、八、九、十丁目、東西四軒町、花園町、櫻井町、永樂町二、三丁目、若草町一、二丁目、初音町、竹園町、東大門通一、二、三丁目、惠化門通、光熙門通同胞町、大井町、船橋町、黃橋通、林町二葉町、笠井町、敦化門通、琵琶町、仲町、紅葉町

オセツカイな男

愛媛縣人當時御成座表方元藤政作(二五)大阪府平民當時太平町一丁目大工職淺井友三郎(二

巳)山口縣人當時龍山十五軒道路通り岸本藤五郎方土方稻田紋藏(三九)の四名は六日午前三時頃太平町の淫賣屋を素見き蓬萊亭前に至りしに同家に於て本町一丁目三番戶車夫橋田壽平が主人と計算上の事より高聲にて口論し居るを見て押入り壽平を毆打し負傷せしめたる廉にて檢事局に送らる

女振り

巴洲亭女將 山本きく女

巴洲亭は南山町四丁目の洋食店で主人は山本陽藏君だ、明治三十五年の渡韓當時鋤燒屋を開業したのが漸次發展して現の巴洲亭を成したのだ、陽藏君眞面目でさへ居ればモウ夙くにより以上成功して居る筈であるのだが、先生三度の飯は五度食つても好い程の八々好きなので儲かる傍から持ち出して丁ふ、夫が又頗る箝式で出ると目剝かれる、勝つて歸るなんて事は殆んど一度もない厄介至極な始末だがきくさん唯の一遍も厭な顏をせぬ、借金して打つのなら兎に角少しでも殘つた金を遣ふのですから却つて女道樂などより後腐れがない丈け結局善ござんすと濟し返つて自分は材料の買出しから料理の世話は勿論集金に至る迄背負つて居る、陽藏君は神田ッ兒できくさんは外郎と鰹の鹽辛とダラ〱評議で有名な相州は小田原の產である、子供衆は八歲になるのが男の子で後は五人共女の子である、今の家屋は今年中には自分の所有になる都合だ、實際陽藏君が此の頭位に縮つて居れば山本家は萬歲だ、巴洲亭は女將で持つて居るとは蓋し女振り子の一家言ではない、總て妻君は餘まり褒めると增長して亭主を臀に布く樣になるからと忠告した人があるから女振りも其の方針で書いて居るのだがきくさん丈けは其の心配がないから有りの儘を紹介する、本年三十四。

一圓の科料を値切

北部齊洞三十一統七戶姜潤成(二八)は人力車夫なるが夜中燈火なしに人を乘せ通行せしを警官に告發せられ科料一圓即決言渡されしに少し高いから減て下さいと嘆願せしも品物代とは違ぞと御目玉頂戴

反對に說諭さる

仁川港定泊の漁船々夫なる熊本生れの油野貞平(二二)と云ふは一昨七日何處にて飲みしや泥醉し肌着一枚にて褌さへせず狂氣の如くに宮町派出所に呂律も廻らず訴へ出でし處に依れば友人なる園田某殿と云へる者より毆打せられたれば說諭を乞ふとの意味なりしかどヘレ〱に醉ひ潰れ居りたれば要領を得ず反對に說諭され這々の態にて罷り退りたりと

賣りに行く途中

西部栗峴洞居住金昌植(二六)は五月三十一日西部右市町十番戶材木商新宮商會の倉庫に忍び入り獨逸製天井張り紙七枚(代七圓)を窃取し賣却に行く途中中部署刑事に捕はれ檢事局に送らる

東小門外の強盜

東小門外元揚州郡守邸並に北廟附近に四五名の强盜凶器を携へ家人を脅迫して數十圓を奪取逃走せるより其の筋にて嚴偵中

迷兒

旭町二丁目菓子商横田爲太郎(三八)長女きく(四つ)は七日正午十二時半頃明治町二丁目を迷ひ居るを警官之を認め保護中午後七時過ぎ判明したるより不注意を諭し引渡したりと

電氣治療器械の好評

東京市神田區一ツ橋通町東京電氣治療研究會製造の素人患者自宅用電氣治療器械は流石同會多年の苦心研究に成れる事とて完全確實にして諸種の慢性難症疑弱諸症に對し效力顯著也との世評頗る高し

若燕と若遊三

▽仁川歌舞伎座と竹園座

先般當地歌舞伎座及び龍山龍山座に於て開演し非常の大喝采を博したる御前講談師桃川若燕一行は既報の通り八日限り龍山を打ち揚げ直ちに仁川に乘込み九日初日を同地歌舞伎座に出し三日間開演の筈にて前景氣頗る宜しと云ふ次に明治町浪花館に根城を構へ三十餘日大入續きにて打ち續けたる三遊亭若遊三の一行は九日限り當地打ち揚げ十日より仁川竹園座に於て相代つて御機嫌を伺ふ筈なりと云ふ

目と耳

▲壽座 九日の替り藝題は「實錄新皿屋敷」にして役割左の如し 磯部主計之助(猿若)愛妾たつた、女房れ濱(正三郎)召使れなぎ(內匠之助)岩上典膳(三之助)魚賣重五郎(猿太郎)仲間佐市、魚賣多平(九十郎)浦戶門三郎(竹三郎)浦戶重左衛門(大舍)

▲京城座 九日の替り藝題は既報の通り「不如歸」全七場にして配役如左 浪子(堀江)加藤夫人(桂木)千鶴子(金澤)家令山の內(川崎)千々岩中尉(高島)山木兵造(中澤)川島武夫(浮田)緒方解學士(松村)片岡中將(岡崎)川島未亡人(瀨川)乳母れいく(平井)令息忠(村上)馬丁仙吉(松葉)頭杢(高岡)助子、島村(木村)百姓

▲御成座 同座九日の替り番組は「三國傳來玉藻前」大序より五段目退治の場迄にして切は「阿波の鳴戶順禮歌の段」にして一同大車輪の大勉強なり

今日の運勢

六月九日 辛巳 五月一日 六白赤口 乙巳 閉
△一白● 便宜を得るか好報に接す:わり子孫の事行商探險檢分調査に吉
△二黑● 平靜の日大抵差障なし紛失遺失防ぐべし
△三碧● 新事見合の事取引授受計算交際に間違起り易し
△四綠● 盜害橫領の恐れあり其他不快の事多き日とす
△五黃● 疎漏失念あり酒色賭事を戒しむ
△六白● 紛糾し易き日取引賣買依托證券の事注意すべし
△七赤● 中傷妄言及爭論紛糾起り易し
△八白● 靖寧の日大抵新事見合せの事吉
△九紫● 精算決算上に紛紜起り易し知己朋友の事係累から金品授受取引上間違多し(本町五丁目三一舘判斷)

●天氣豫報(自八日午後六時至九日午後六時)
西の風晴後曇

廣告

七日(華氏) 最高溫度 七三、二 最低溫度 五五、六

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九番
ゑり徳商店

廣告

一鴨緑江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
京城旭町三丁目
建築業 柴田芝六
電話五百六十八番

表具部開業
額屏風天井壁張及表装一切並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任 網島久雄 眞光小太郎
電話（五六八）

代書業
京城裁判所前向
池田仁吾

民刑事件鑑定辯護
辯護士 豊田法律事務所
京城鐘路裁判所前向

高等牛乳
滋養 强壮
韓國畜産株式會社
南大門外 電話八八番

マッサージ術
健麻質斯。神經痛。脊髓炎。腰筋骨一切の術
小生儀内地に於て他年の間斯業に從事致し居り多數の患者を全治せし經驗有之候處今般左記に出張所を廣け設く患者の需に應す
京城西小門通（三ッ角）
佐世保より出張 井手

入院隨意
内外科 小兒科 梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話二二六
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

明治廿年七月創立
京城代理店 本町四 山口縣屋店 電話九番
東京火災海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

緊急廣告
◎景品附賣出期間本月十一日迄
◎景品は各商店に陳列す
餘日切迫に付此好機を逸せられず陸續御購求希上候
韓國京城本町五丁目
和洋金物商
釘本藤次郎本店
長距離電話四五番 電信略號（ク） 振替貯金口座韓國二六番

六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢

東京 足袋
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣 毛引なし 安心して買へ升

資本金壹百萬圓
大阪火災海上運送保險株式會社
（本社大阪東區備後町）
京城代理店
官製煙草元賣捌店
京城本町四丁目
三共商會
電話四一三番
保險料は低廉にして極めて簡便に御契約可仕候

産婆開業廣告
見習生を募集す
年齢十六歳以上にして高等小學卒業以上の學力又は同等の學力あるもの本人直接來談
京城旭町二丁目四十五番戸
内務省免許産婆
村松たけ

きゝめのある
温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も効なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りん病
よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、ぜんそく
腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席 鐵冷温泉
電話千四百十一番

和洋農具並に養蠶具器械一式
純良農産種子養成販賣○果樹、山林、庭園用苗木
觀賞用植物苗木類、肥料
京城東大門外
韓國農園種苗養成所
諸官衙御用達
京城本町一丁目六十五番戸
三輪商會
電話三八六番

韓國銀行
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所
仁川、平壌、元山、釜山、群山、馬山、城津、成興、鎮南浦、木浦、安東縣
爲替取引先
日本 東京、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下関、兵庫、
韓國 公州、晋州、光州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、
清國 大連、營口、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、
其他外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

韓國官衙御用
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐ペンキ
穀物食鹽
諸染料類
委託販賣
東京ランバート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目（電話新橋三六九二）

大上商店
特約販賣
味噌醤油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
（電話二五一番）
自製
支那白菜漬
朝鮮菜葉漬
大賣出し

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番 四九二番
日本室和食
特等（三圓五十錢）
一等（二圓五十錢）
二等（一圓六十錢）
三等（一圓五十錢）

高等旅館
平壌大和町
浪花館
電話一三四番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
（電話四二〇）
本店 長崎市銀町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申べく（利息日歩壹錢二厘）
長崎貯蓄銀行代理店
（十八銀行京城支店）

馬車配達
純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧塲
電話壹六九〇番
滋養と牛乳
衛生と消毒

入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院主 醫學得業士 中島貞信

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、静岡、山田、桑名、松阪、名古屋、宇田、熱田、四日市、津
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、八手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下関、萩、徳山、小郡、長府、細干
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、撫養、徳島、善通寺、丸亀、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、久留米、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
清韓國 木浦、仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壌、晋州、羅州、大邱、群山、安東縣、公州、尚州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

京城梅毒病院
京城相生町南門湯横（電話一二九四番）
自午前八時 至午後九時
●入院隨意●
花柳病專門 附痔疾一般
院長 醫學得業士 蘆田耕平

貨物運送取扱
稅關貨物取扱
危險擔保附運送品代金付貨物運送貨物引換證發行
内國通運株式會社
京城支店 京城南大門驛前 電話一〇九番
仁川出張所 仁川驛前 電話五二番
釜山出張所 草梁驛前 電話五三七番
龍山出張所 龍山驛構内 電話二〇六番

辯護士
特許辨理士
岩田仙宗
京城明治町二丁目（佛國教會前）
電話三五四番

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後早十五年の星霜を重ね候に就ては全く各位御愛顧の賜ものに外ならず此際御愛顧に酬ゆる爲め
「タバン」懐中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り直段にて販賣す
瑞西タバン懐中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ時計韓國特約販賣店
時計卸商 喜多金光堂本店 京城本町二丁目 電話一〇五番
時計卸小賣 喜多金光堂支店 仁川本町二丁目 電話七〇五番
右特約店 金化堂時計舗 京城本町二丁目 電話三八
各地方より御注文は發送費用申受候

歯科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
電話一八三

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社第一銀行京城支店
電話一一番 六一二番
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、神戸、名古屋、四日市、横濱、其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候